

表328 成人ぜん息患者医療費受給者数

平成19年1月に施行した「川崎市成人ぜん息患者医療費助成条例」に基づき、本市に3年以上住所を有する20歳以上の気管支ぜん息患者を対象に、市内のぜん息患者の健康回復と福祉の増進を図ることを目的として医療費の一部を助成している。

	総 数			20～34歳			35～44歳			45～54歳			55～64歳			65歳以上		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
平成19年度	1,770	699	1,071	353	154	199	553	196	357	314	135	179	336	106	230	214	108	106
20	2,360	917	1,443	465	198	267	728	262	466	441	175	266	420	133	287	306	149	157
21	4,107	1,607	2,500	687	289	398	1,126	385	741	790	303	487	659	223	436	845	407	438
22	4,755	1,836	2,919	774	334	440	1,321	449	872	976	363	613	763	259	504	921	431	490
川 崎	348	135	213	50	16	34	76	29	47	61	23	38	67	27	40	94	40	54
大 師	314	123	191	37	14	23	78	23	55	49	22	27	43	11	32	107	53	54
田 島	251	100	151	34	14	20	48	17	31	38	15	23	41	12	29	90	42	48
幸	565	220	345	67	35	32	153	39	114	98	36	62	78	26	52	169	84	85
中 原	468	194	274	74	43	31	142	54	88	112	40	72	78	28	50	62	29	33
高 津	598	244	354	108	42	66	175	70	105	124	56	68	102	33	69	89	43	46
宮 前	988	382	606	177	94	83	281	93	188	230	83	147	168	55	113	132	57	75
多 摩	491	190	301	102	38	64	134	53	81	107	34	73	69	25	44	79	40	39
麻 生	732	248	484	125	38	87	234	71	163	157	54	103	117	42	75	99	43	56

注) 平成24年2月1日施行により、引きつづき本市に住所を有すべき期間を1年以上とする改正を行った。

資料：環境保健課

§ 3 光化学スモッグ公害

光化学スモッグ公害による健康被害の防止と発生に備えるため、注意報、警報発令時の連絡網の整備、被害者の救済を行っている。

注意報発令回数は、7月に4回、8月2回、9月に1回で計7回発令されたが、警報及び重大警報の発令はなかった。

なお、健康被害の届出は6人だった。

資料：環境保健課